

令和5事業年度

決算報告書

第20期事業年度

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日

国立大学法人福岡教育大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人福岡教育大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,042	3,147	104	(注1)
施設整備費補助金	262	205	△ 57	(注2)
補助金等収入	211	212	1	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	5	5	—	
自己収入	1,584	1,560	△ 23	
授業料、入学料及び検定料収入	1,537	1,508	△ 28	(注3)
雑収入	46	51	4	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	103	91	△ 11	(注4)
目的積立金取崩	12	74	62	(注5)
計	5,221	5,297	75	
支出				
業務費	4,771	4,719	△ 51	
教育研究経費	4,771	4,719	△ 51	(注6)
施設整備費	267	210	△ 57	(注7)
補助金等	79	82	3	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	103	84	△ 18	(注8)
計	5,221	5,098	△ 123	
収入-支出	—	199	199	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、前年度退職手当の繰越額77百万円および予算段階では予定していなかった26百万円の追加予算が交付されたことにより、予算額に比して決算額が104百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、支出額の減少に伴い、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、見込みと実績の差等の理由により、予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金受入額の減少等の理由により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。

(注5) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を実施したこと等により、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。

(注6) 教育研究経費については、経費削減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が51百万円少額となっています。

(注7) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。

(注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金執行額の見込みと実績の差等の理由により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっています。